

行動報告

10 OCTOBER

月	火	水	木	金	土	日
1 福祉・面会2 自立支援センター入所受付 街頭カンパ開始 名古屋白川シェルター 住民説明会に参加	2	3	4 アルミ缶会議 アルミ缶拾いで生計を立てている仲間の寄り合い。 (以下同)	5 代々木バト セリーン宮下公園訪問	6 炊き出し 渋谷バト 梁山泊カレー販売 多摩川・隅田川訪問	7 梁山泊カレー販売
8 宮下公園 クリーンアップ大作戦	9 福祉・面会センター 入所受付	10	11 アルミ缶業者 見学ツアー会議	12 代々木バト	13 炊き出し 渋谷バト 医療相談	14 豊島寮・新宿寮面会 日常活動見直しWS
15 福祉・面会 街頭カンパ	16 センター入所受付	17	18 アルミ缶会議	19 代々木バト 韓国訪問(～2日)	20 炊き出し 渋谷バト	21 全国懇
22 福祉・面会	23 街頭健康診断 センター入所受付	24	25 アルミ缶会議	26 代々木バト	27 炊き出し 渋谷バト	28
29 福祉・面会	30 センター入所受付 渋谷福祉交渉	31	1	2	3	4

10月2日
「自分たちで風呂代を稼ぐ」ための街頭カンパ活動開始。別稿参照。
名古屋市が白川公園にシェルター建設計画を発表。シェルター建設と引き換えに仲間にテントを畳ませるパターン。地域住民向け「住民説明会」に、渋谷からも馳せ参じる。

10月5日
インドで支援活動を行っているSPARCのセリーン氏が国連主催会議のため来日。宮下公園を訪れる。石まで宮下公園や多摩川・隅田川の仲間と交流。

10月7日8日
宮下梁山泊が「アントロピー学会」で弁当売りに挑戦。セリーン直伝のインド風カレーを販売する。事前宣伝や主催者側の暖かい協力もあり、売り上げは順調。

10月8日
「宮下公園クリーンアップ大作戦」実施。公園トイレに書かれた「ホームレスを皆殺しにしようぜ」の差別落書きを消すだけでなく、公園の清掃作業を地域や学校にも呼びかけた。東京各地から70人の野宿者・支援者が集まったが雨天中止により、1月1日に順延。詳細はのしれんホームページ。

10月11日
代々木公園でアルミ缶回収に携わる代々木公園の仲間を中心に、買取業者の工場見学。今回で二度目。

10月14日
「日常活動見直しワークショップ」。活動家中心から当事者主体の活動に切り替えるため、各コミュニティーを軸とした活動形態を模索。

10月19日
「ホームレス東アジア交流」の延長で、渋谷を中心に計9人が韓国入り。韓国の住民運動30周年の記念ワークショップに招待されて(～2日)。別稿参照。

10月21日
名古屋で「野宿者運動全国懇談会(全国懇)」。2ヶ月に一度のペースで開かれる全国の野宿者運動体の合同会議。今回は「ホームレス自立支援法」制定に向けた動きなどをにらみつつ、全国の野宿者運動体による政策要求の実現に向けて、プロジェクトチームの結成を決める。

10月23日
年1回の渋谷区主催の野宿者向け街頭健康診断。40名弱の仲間が結核検診その他を受診。

10月30日
渋谷区保護課と交渉。1)自立支援センター・渋谷寮開設の目処について。2)緊急一時保護センター・大田寮の入所方法について。3)高齢者無料入浴デーの野宿者排除を受けて、風呂券支給やシャワー設備の改善について。4)街頭健康相談の充実について。

11 NOVEMBER

月	火	水	木	金	土	日
29	30	31	1 アルミ缶会議	2 代々木バト	3 名古屋ソフトボール大会 炊き出し 渋谷バト	4 名古屋・渋谷WS (P22～23参照)
5 福祉・面会	6 センター入所受付	7 通信発送作業	8 アルミ缶会議	9 代々木バト	10 炊き出し 渋谷バト 医療相談	11 宮下公園 クリーンアップ大作戦
12 福祉・面会 街頭カンパ	13 センター入所受付	14	15 アルミ缶会議	16 代々木バト	17 炊き出し 渋谷バト 全国懇合宿(～1日)	18
19 福祉・面会	20 センター入所受付	21	22 アルミ缶会議	23 代々木バト	24 炊き出し 渋谷バト	25 豊島寮・新宿寮面会
26 福祉・面会 緊急一時保護センター・ 大田寮入所説明会 街頭カンパ	27 センター入所受付 渋谷福祉交渉	28	29 アルミ缶会議	30 越年向けWS	1	2

11月3日
「名古屋・団結ソフトボール大会」に渋谷から総勢16名が参加。あいにくの雨の中、ずぶ濡れ、どろんこになりながらソフトボールを楽しむ。

11月4日
ソフトボール大会の後、名古屋・渋谷の仲間が「仲間の家とは?」をテーマにワークショップ開催。「仲間の家に必要なもの」について個人個人の思いを挙げつつ、挙げられた項目について皆でランキングを行う。(P22～23参照)

11月7日
半年振りに通信発行。そのため、13・14合併号に。作業はいつものように仲間数名に手伝ってもらいながら、日がかかりで印刷・製本・郵送。

11月9日
「ホームレス自立支援法案」につき、与党三党が「ホームレス問題に関するワーキングチーム」開催。叩き台となる自民党案には、「自立」に向けた施策の実施とともに、「地域社会における良好な生活環境の確保」「公共施設の管理者はホームレスの退去と起居に使う工作物の撤去を行うなど必要な措置をとること」が明記されていた。



11月17日
全国の野宿者運動団体が集まる「野宿者運動全国懇談会(全国懇)」の作業部会である「就労対策プロジェクトチーム」合宿に参加。国会における「ホームレス自立支援法」制定の動きを見据えつつ、現場から政策要求を作り上げていくための準備を始める。焦点は、生活保護と就労問題の関係。

11月26日
12月7日より開設される「緊急一時保護センター・大田寮」の実施内容や入所受付方法などにつき、渋谷区保護課より説明を受ける。渋谷の枠は16名であること、「プレ自立支援センター」として、就労自立を目指す仲間の施設であること、したがって生活保護受給者の代替施設としては「活用」しないこと、撤去の受け皿としないことなどを確認。

11月30日
今年の越年をどうするか、で仲間のワークショップ実施。去年までの例を参考に、連日の炊き出し回数をどうするか、場所はどこでやるか、役割分担はどうするか、等々を議論した上で一人一人の秘密投票で採決。越年行動の大枠を決める。